

<http://www.jp.mohole.org/>

海とちきゅうのフロンティア

～ウォルター・H・ムンク教授特別講演～



Attribution: Holger Motzkau,
Wikipedia/Wikimedia Commons

主催: マントル掘削推進研究者一同
協力: 東京大学, 東京大学大気海洋研究所
IODP-MI, J-DESC, JAMSTEC/IFREE

海洋学のレジェンド
ウォルター・H・ムンク教授
(Prof. Walter H. Munk)
スクリプス海洋研究所
カルフォルニア大学サンディエゴ校



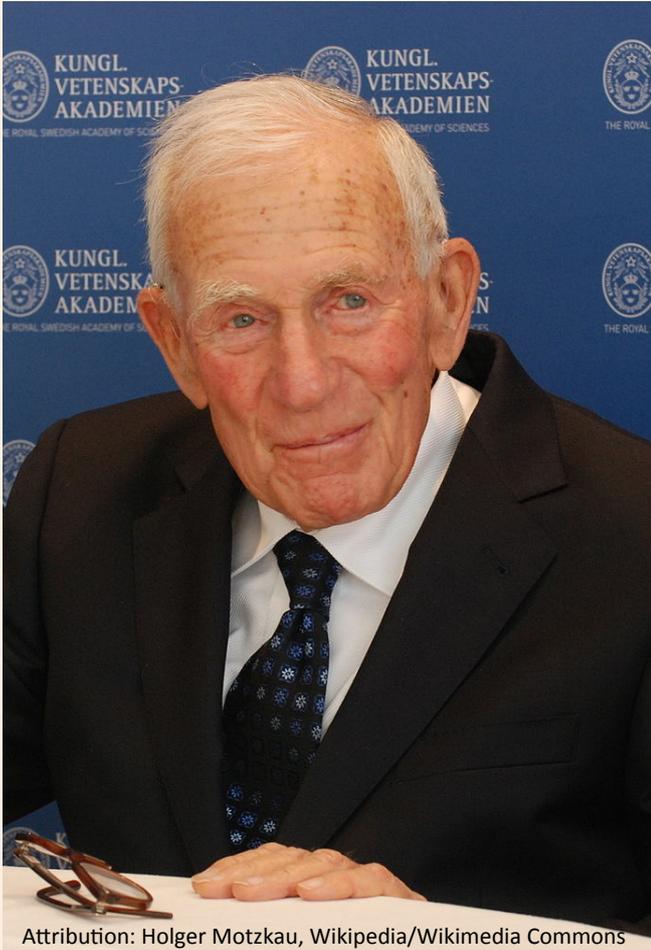
11月7日 (水) 14:00-16:00
場所: 東京大学小柴ホール
入場: 無料, 開場: 午後1時～
開会 14:00
ムンク教授の紹介
ムンク教授特別講演 (対話式)
マントル掘削提案
閉会 16:00
詳細は www.jp.mohole.org

M2M: Journey to the Earth's Mantle

18:00 懇親会@学士会館 (要予約)

問い合わせと懇親会への参加予約: 道林克禎静岡大学准教授 (054-238-4788, sekmich@ipc.shizuoka.ac.jp)

ウォルター・H・ムンク (Walter H. Munk), 海洋学者 カリフォルニア大学スクリップス海洋研究所 教授



Attribution: Holger Motzkau, Wikipedia/Wikimedia Commons

1917年生まれ, 95歳 (来日時)



49歳当時のMunk教授

Photo by Ansel Adams in 1966

ムンク教授は、約70年余にわたり、海洋物理の多くの優れた先導的研究を行い、海洋科学に大きな影響を与え続け、その発展に多大な貢献をされました。

教授の業績は多数に及びます。例えば、黒潮など世界の主要な海洋大循環が海上を吹く風で駆動し、地球自転の効果と水平乱流を通じた陸岸摩擦の効果で決まることを示され、観測された風の分布にもとずいて、亜寒帯寒流から赤道海流に至る現実の海流分布を見事に説明されました。また、大気や海洋の運動の影響による地球自転の不規則性を初めて明らかにするなど、この問題の研究に新時代を開き、著書「**The Rotation of the Earth**」はこの分野の必読の書となっています。

教授の研究対象は固体地球物理学にも向けられており、「モホール計画」として知られる海底掘削による**地球マントルのサンプリング**を提案されました。ここから現在の**統合国際深海掘削計画 (IODP)**まで続く一連の国際的なプロジェクトに発展しています。そしてモホール計画は、日本が誇る**地球深部探査船「ちきゅう」**の誕生によって実現に向け大きく前進しています。

主な受賞と栄誉

- 1965年 アーサー・L・デイ・メダル (アメリカ地質学会)
- 1966年 スベルドラップ・ゴールドメダル (アメリカ気象学会)
- 1968年 英国王立天文学会ゴールドメダル
- 1989年 ウィリアム・ボーウィメダル (アメリカ地球物理連合)
- 1999年 京都賞 (基礎科学部門)
- 2010年 クラフォード賞